

生徒が園児と触れ合った合同特別授業＝5日、坂井市の丸岡高



高校生、園児と 劇を通し交流

坂井「教科横断授業」にらむ

坂井市の丸岡高で5日、保育園児を招いた家庭科と芸術科(美術、音楽、書道)の合同特別授業が開かれた。劇や手遊びなどを通して高校生と園児が楽しいひとときを過ごした。

2022年度に導入される「教科横断型授業」をにらみ行った。家庭科のキャリアプログラムに保育教育が含まれていることから授業内容を園児との交流に決めた。3年3、4組の60人が劇の小道具制

作など役割を分担し、準備を進めてきた。わかか保育園5歳児28人を招いた。生徒は玄関から会場まで手をつないでエスコート。手遊びをや劇、電車ごっこを楽しんだ。このうち、劇では昔話の「笠地蔵」と「三枚のお札」を披露した。園児は、生徒の心のこもった演技を食い入るように見ていた。

劇に出演するなど活躍した西坂ひなたさんは「自分たちも楽しめたし

園児も楽しんでくれたと思っ」と満足げな表情。招かれた飯田龍之介ちゃん「劇が面白かった。また来たい」と笑顔を見せた。合同授業を提案した家庭科の長谷川智子教諭は「今後も定期的

に続けていきたい」と話していた。(重森昭博)